

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2024 年 6 月 12 日

「全世界 2024 年度案件別外部事後評価パッケージ I -4(コンゴ民主共和国、ブルキナファソ、タンザニア、リベリア)(QCBS-ランプサム型)」

(公示日:2024 年 6 月 5 日/調達管理番号:24a00209)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P22 詳細分析 【案件】 モンロビア首都圏ソマリアドライブ 復旧計画、第 二次モンロビア首 都圏ソマリアドライブ復旧計画 (一体評価)	リベリア案件について脚注 15 で「衛星データを用いた分析方法についてはプロポーザルで提案すること」とあるが、プロポーザルの「業務実施の基本方針」と「業務実施の方法」の上限である 20 ページに含まれるか。	プロポーザルでの提案事項は、プロポーザルの上限ページ数に含まれます。
2	P17 タンザニア案件 P28 配布資料・公開資料 【案件】 タンザニア「第二次ニューバガモヨ 道路拡幅計画」	配布・公開資料の「簡易型外部事後評価について」(2019 年)において、「妥当性の確認は事前評価時点まで」とされている。「整合性」については同資料で言及されていないが、「日本の開発協力方針との整合性」は妥当性と同様に事前評価時点における確認のみでよいか。 内的・外的整合性については P17 の記載内容から、事後評価時点の分析も行うと理解した。	ご指摘をありがとうございます。 「整合性」について、「日本の開発協力方針との整合性」は「妥当性」と同様に事前評価時点における確認までとします。 ただし、有効性・インパクトや持続性に明らかな問題があった場合は、事後評価時点の「妥当性」を確認します。 内的整合性、外的整合性については、計画時及び、事業実施中の連携/調整により具体的な成果までの確認を含みます。

以 上